



平成 27 年 5 月 11 日

各 位

会 社 名 日本海洋掘削株式会社  
代表者名 代表取締役社長 市川 祐一郎  
(コード番号：1606 東証第一部)  
問合せ先 広報・IR室長 谷内 正彦  
(TEL. 03-5847-5862)

### 平成 27 年 3 月期連結業績予想値と実績値との差異に関するお知らせ

平成 27 年 2 月 5 日に公表しました平成 27 年 3 月期（平成 26 年 4 月 1 日～平成 27 年 3 月 31 日）の連結業績予想値と本日公表の実績値に差異が生じたので、お知らせいたします。

#### 記

#### ●平成 27 年 3 月期連結業績予想値と実績値との差異（平成 26 年 4 月 1 日～平成 27 年 3 月 31 日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	34,175	261	2,514	1,902	105.67
実績値(B)	32,584	842	3,260	1,892	105.15
増減額(B-A)	△1,590	581	745	△9	
増減率 (%)	△4.7	222.6	29.6	△0.5	
(ご参考)前期実績 (平成 26 年 3 月期)	40,134	9,910	12,281	6,106	339.23

#### 差異が生じた理由

売上高及び当期純利益は前回発表予想を下回りましたが、営業利益及び経常利益は、前回発表予想を上回りました。

売上高につきましては、「ちきゅう」の科学掘削が減少したこと、3月に工事を開始したインド共和国 Oil & Natural Gas Corporation Limited（以降“ONGC 社”）との商業掘削契約のうち当社が手配する第三者提供サービスの売上が前回発表予想に比べて減少したこと等から、前回発表予想比減収となりました。

一方、売上原価も売上高と同様に「ちきゅう」の科学掘削及び ONGC 社関連で当社が手配する第三者提供サービスが減少しましたが、これに加えて「HAKURYU-5」の整備・アップグレード工事にかかわる修繕費、物品費等が予想に比べて減少したことから、売上原価の減少が売上高の減少を上回り、営業利益、経常利益とも前回発表予想より増益となりました。

当期純利益は、税金費用が増加したことから、前回発表予想と比べて若干の減益となりました。

以上